

## 市は観光情報発信に しっかり取り組み

～市内観光を「里の旅」として集約化、  
情報発信を行っている～



衛 藤 竜 哉

市民クラブ

### 質

市の観光について何かと大きな議論が注目されている。地域住民との協働の思いの中、イベント・観光スポット、特にチューリップフェスタの反響、認識について考えを伺う。



今年のチューリップフェスタはライトアップも行いました

### 答

商工観光課長

豊後大野市2016チューリップフェスタは、14日間で約13万人にご来場をいただきました。フェスタは期間中にぎわいだけでなく、球根の植え付け、掘り起こし作業などに市内

外から延べ約2千人のボランティアの方々にご加勢をいただき、一大イベントが実現されていることは特筆されるべきものと考えます。市としても、このフェスタを発展させていくことは、極めて重要であると認識しています。

### 質

4月14日、16日に熊本・大分に多大な被害を起こした活断層による大地震は、想定外の大惨事となり、早急な復旧が望まれる。

## 災害への備えは大丈夫か

～「いつ発生するか分からない大災害に備え、  
防災体制の見直し・強化を図る～

### 答

市長

市内でも大地震後の対応が大丈夫なのか不安になる。今一度、災害対策マニュアル等の再チェックをと思うが、考えを伺う。

各種の災害応急対策を遂行するために設置された各対策部の機能が十分に発揮されず、避難所対応職員にも過大な負担が発生するなど課題が見られました。今年の9月4日には、本市と竹田市で、「大分豊肥地区総合防災訓練」を開催することが決まっており、三重町の三重中学校で避難所の開設訓練を実施します。

市内各地域においても、自主防災組織の活動活性化等により、地域のつながりを深め、防災力の強化を図っていただきたいと思います。



ひろまさ とうまさ ひろまさ  
衛藤正宏

三岳会

## 地域の宝物は

～多様な地域資源が本市の宝物～

**質**

地域資源はそれを活用しようとする戦略や意図が必要であり、それぞれの分野で、まだまだ取り組みや情報発信が足りないと感じるが、現状と課題は。

**答**  
市長

農林業の振興、自然景観と文化を生かした観光振興、森林や水資源等の豊富な再生エネルギーの地産地消と観光振興などが、地域資源として掲げています。

農林業の振興は、大分市中央町、そして東京都台東区に開設したアンテナショップを利活用し、知名度向上に努めています。

のようなアンテナショップを有効に活用し、本市の魅力を情報発信し、交流人口の増加や販路拡大を図り、本市の活性化を目指します。



台東区浅草にあるまるごとにつぼん(3階にPRブースを出展)



大分市中央町のアンテナショップ



## 待機園児への支援は

～保育士確保と保育所等の数や定員の増加を～

**答**  
社会福祉課長

本年度は昨年度の受け入れ実人員に対して多数の超過が発生していましたが、市内各園の協力をいただき、本年4月1日時点では待機児童は発生していません。

待機児童の解決には、保育士確保と保育所等の数といった受け皿が必要であり、保育士養成促進事業の周知や、保育所等の建て替え時に定員の増加や年齢構成などの見直しといった対策を強化します。

幸いにも、本年度から保育士試験の年2回実施や、保育士配置要件の弾力化が図られることとなりましたので、周知し制度の活用を促します。

**質**

保育所の申し込みが1033人と、待機児童の心配が危惧されていたが、その後の対応と今後の支援について伺う。